様式３

作成日　平成21年12月21日

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	入居者の得意分野を活かし市の回想法センターに出向き習字教室や歌おう会に参加し、有意義な時間を過ごしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	入居者家族、自治会長、民生委員、介護保険課職員、地域包括支援センター職員、グループホーム職員参加のもと実施している。ホームからは活動報告や来年10月開設予定のショートスティの説明があったり、自治会長からは福祉のつどいや地域行事参加依頼があった。家族より介護の大変さや施設をうまく利用することで介護軽減になる話が出た。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価：４）	評価
	市からの依頼で「認知症について」の研修を行ったり、事業者更新申請に出かけアドバイスを頂いたりしている。地域包括支援センターには入居者家族の介護認定相談など、いつでも協力関係が築けるように努めている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	年に2回、4月に家族会、9月に懇談会を開催し全家族が参加されている。ホーム便りは毎月郵送し、ホームでの生活状態を各項目に沿って伝えることで安心してもらい、家族が要望や意見を書けるよう欄を設けることで、運営に活かすことができる。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住みなれた地域での生活を継続するために、家族や知人が気軽にホームに立ち寄ることができたり、地域行事に参加することで今までのつながりを大切にしている。管理者は認知症キャラバンメイトとして、誰もが認知症の人やその家族を温かく見守ることができる応援者になってもらいたいと市からの依頼を受け活動している。職員は日々日常会話の中から思いや希望をくみ取り本人の意向に添える支援が実施できるように努めている。ホーム内は感染症や食中毒対策に強酸性水を使用することで介護する人、される側の安心につながっている。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目２、３、４については１つ以上、外部評価項目６については２つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。